



～『事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)』を始めます～ 事故危険区間(33箇所)を選定しました 交通事故の撲滅に取り組みます

- 富山県内では、平成22年12月26日時点で、5,505件の事故が発生しており、そのうち、約16%(約870件)が国が管理する国道(8号,41号,156号,160号,能越自動車道)で発生しています。(死亡事故は、57件中9件の約16%) ※事故件数は速報値
- 道路利用者に交通事故が起こりやすい危険な箇所との認識を持っていただきながら、集中的・重点的に交通事故の撲滅に取り組むため事故危険区間(33箇所)を選定し、『事故ゼロプラン』として取り組みます。
- 引き続き、事故データだけでは分からない事故危険区間の抽出のためアンケート調査をホームページ(<http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/index.html>)で実施します。

◇ 事故危険区間の代表箇所の状況写真



国道160号 幸町交差点
(氷見市 幸町)



国道8号 稲泉交差点
(滑川市 稲泉)

お問い合わせ先

富山河川国道事務所 交通対策課長 盛田 義昭 Tel076-443-4725

◇ 事故危険区間の一覧と事故データ

○事故危険区間は、富山道路安全・円滑化検討委員会において、抽出条件を決定し、過去の事故データを基に選定するとともに、平成21年に実施したアンケート調査からも選定しています。

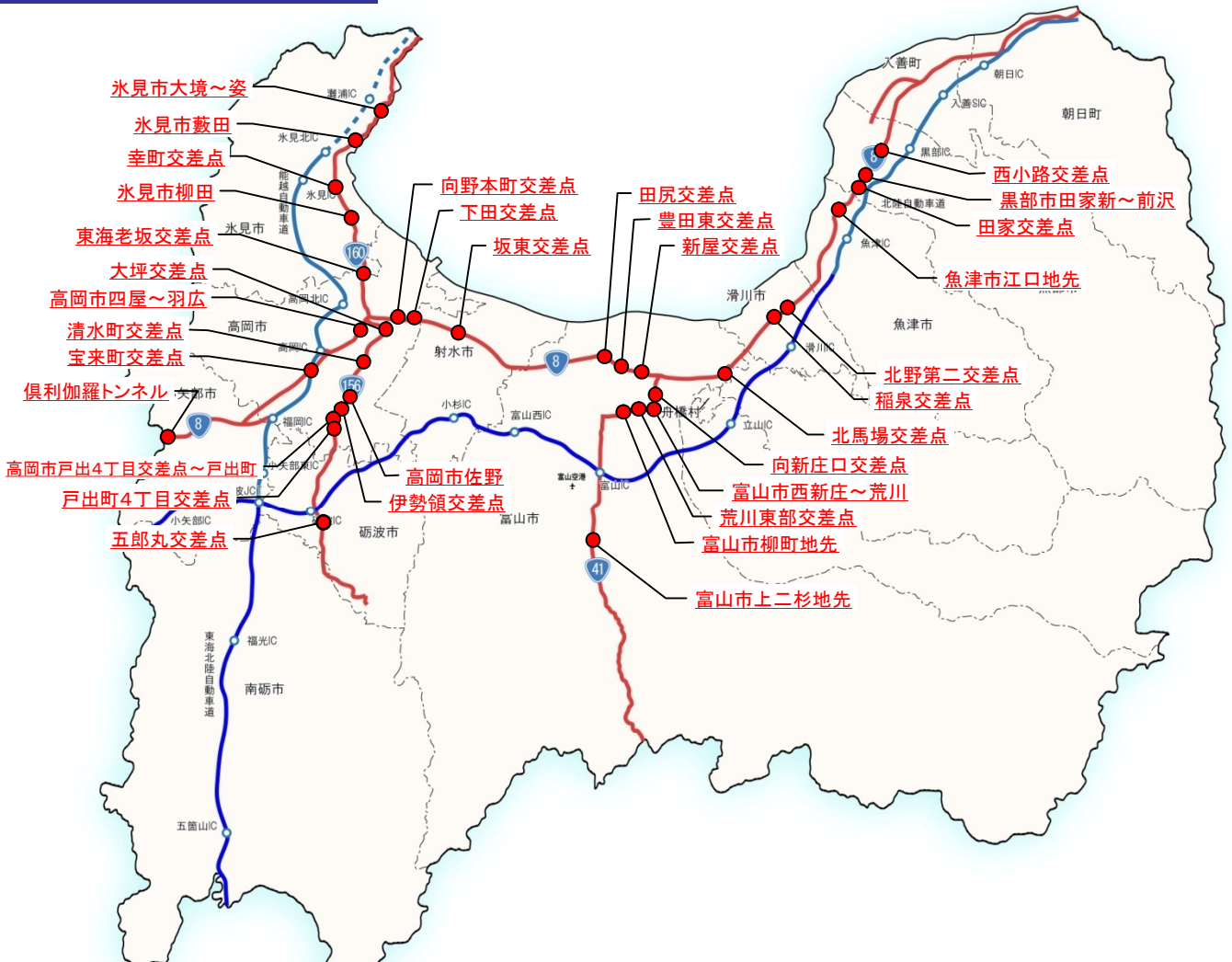
抽出基準 (※1)	優先度	路線	市町村	対象区間	死傷 事故率 (※2)	平均 事故件数 (※3)	死亡 者数 (事故発生年)	備考	No
多発	優先度 1位	160号	氷見市	幸町交差点	999.4	4.0	1人 (H15)	H18 路面標示 H19 氷見IC供用	1
多発		8号	滑川市	稲泉交差点	710.3	5.3	0人	H22 4車線化	2
多発		156号	砺波市	五郎丸交差点	692.3	2.5	0人	短期対策 路面標示	3
多発		41号	富山市	荒川東部交差点	669.4	7.8	0人	H22 路面標示	4
多発		8号	富山市	新屋交差点	659.3	10.5	0人	中長期対策 豊田新屋立体	5
多発		8号	高岡市	下田交差点	617.4	3.8	0人	H17 下田立体	6
危険		8号	富山市	豊田東交差点	392.4	6.3	1人 (H16)	中長期対策 豊田新屋立体	7
危険		8号	富山市	北馬場交差点	361.0	4.0	1人 (H20)	短期対策 路面標示	8
危険		8号	射水市	坂東交差点	309.8	5.0	1人 (H18)	中長期対策 坂東立体	9
危険	優先度 2位	41号	富山市	向新庄口交差点	262.0	2.3	1人 (H15)	H22 路面標示	10
危険		156号	高岡市	戸出町4丁目交差点	249.3	2.5	1人 (H19)	短期対策 路面標示	11
危険		8号	高岡市	向野本町交差点	212.5	3.8	2人 (H18,H20)	短期対策 路面標示	12
危険		8号	富山市	田尻交差点	194.2	3.8	1人 (H20)	短期対策 路面標示	13
危険		156号	高岡市	佐野	179.6	3.3	1人 (H19)	短期対策 路面標示	14
危険		41号	富山市	西新庄～荒川	172.7	4.0	1人 (H17)	H18 路面標示	15
危険		160号	氷見市 高岡市	東海老坂交差点	168.8	2.5	1人 (H17)	H19 路面標示	16
危険		160号	氷見市	柳田	150.6	3.8	1人 (H19)	短期対策 路面標示	17
危険		156号	高岡市	戸出町4丁目交差点 ～戸出町	137.0	2.5	1人 (H19)	短期対策 路面標示	18
危険		8号	高岡市	四屋～羽広	129.2	3.5	3人 H18:1人 H19:2人	H22 路面標示 防護柵 対策検討中	19
危険		41号	富山市	柳町	104.4	2.5	2人 (H17)	H22 路面標示	20
危険	優先度 4位	156号	高岡市	大坪町交差点	256.9	1.5	1人 (H15)	短期対策 路面標示	21
危険		8号	黒部市	西小路交差点	215.9	1.8	1人 (H20)	対策検討中	22
危険		160号	氷見市	大境～姿	186.0	1.8	1人 (H18)	対策検討中	23
アンケート		8号	黒部市	田家交差点	180.4	1.8	0人	対策検討中	24
アンケート		156号	高岡市	清水町交差点	165.7	1.5	0人	H19 路面標示	25
危険		156号	高岡市	伊勢領交差点	165.7	1.5	1人 (H19)	対策検討中	26
危険		41号	富山市	上二杉	147.6	1.0	1人 (H16)	中長期対策 交差点改良	27
危険		8号	高岡市	宝来町交差点	147.0	1.0	1人 (H19)	対策検討中	28
危険		8号	滑川市	北野第二交差点	135.3	1.0	1人 (H17)	中長期対策 4車線化	29
危険		160号	氷見市	藪田	116.5	2.0	1人 (H20)	H22 交差点改良	30
危険		8号	魚津市	江口	110.7	1.8	1人 (H15)	中長期対策 入善黒部BP	31
危険		8号	黒部市	田家新～前沢	103.1	2.0	1人 (H18)	対策検討中	32
アンケート		8号	小矢部市	俱利伽羅トンネル	0.0	0.0	0人	対策検討中	33

※1：抽出基準の詳細は、別紙4【多発】：事故が発生する割合が高い区間【危険】：死亡事故が発生している区間
【アンケート】アンケート：平成21年1月～2月に実施したアンケート調査で選定された区間

※2：死傷事故率：自動車1kmあたり1億台走行した場合に起こる死傷事故件数（H17～20の事故データ）

※3：平均事故件数：平成17～20年の4年間の死傷事故件数を1年あたりに平均した件数

◇ 事故危険区間の位置図

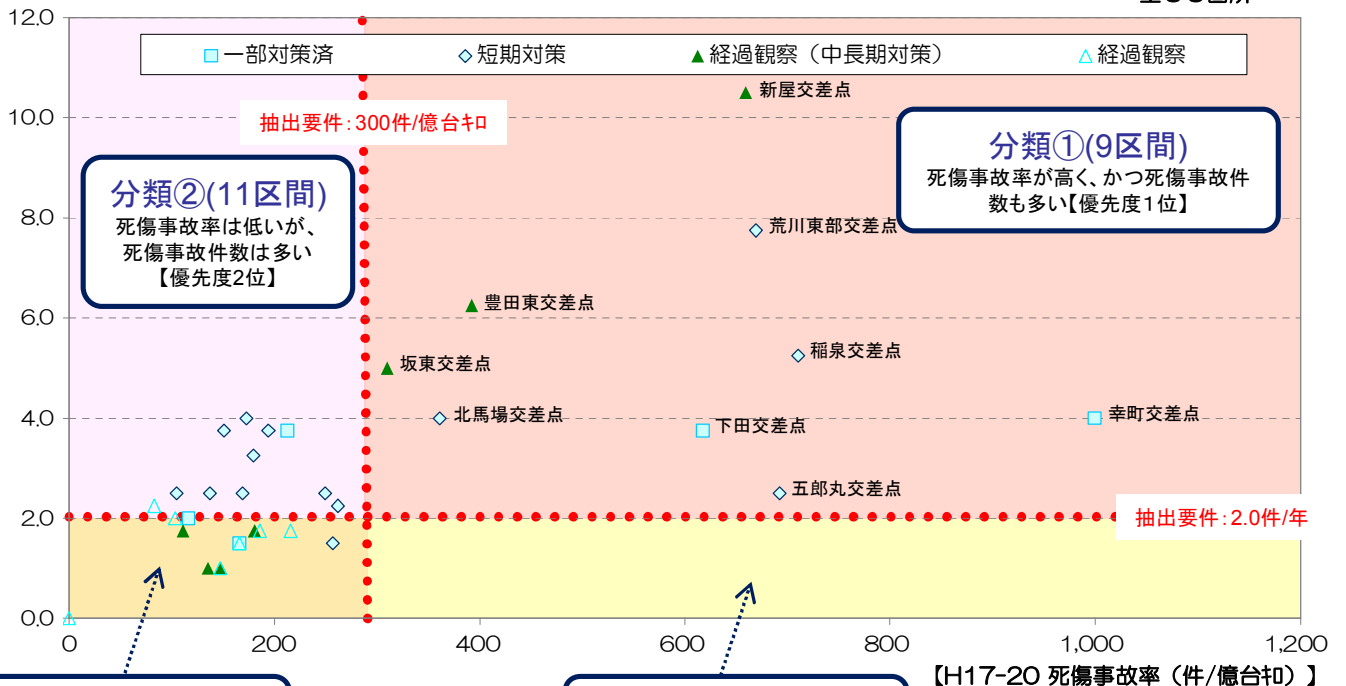


◇ 事故危険区間の優先度の考え方

分類: 死傷事故率300件/億台キロ(昭和40年代の“交通戦争”と呼ばれた頃の平均死傷事故率)
死傷事故件数 2.0件/年(県内の抽出箇所平均死傷事故件数)

【H17-20年平均死傷事故件数(件/年)】

全33箇所



分類②(11区間)
死傷事故率は低いが、
死傷事故件数が多い
【優先度2位】

分類①(9区間)
死傷事故率が高く、かつ死傷事故
件数も多い【優先度1位】

分類④(13区間)
死傷事故率が低く、かつ死傷事故
件数も少ない【優先度4位】

分類③(0区間)
死傷事故率は高いが、死傷事故
件数は少ない【優先度3位】

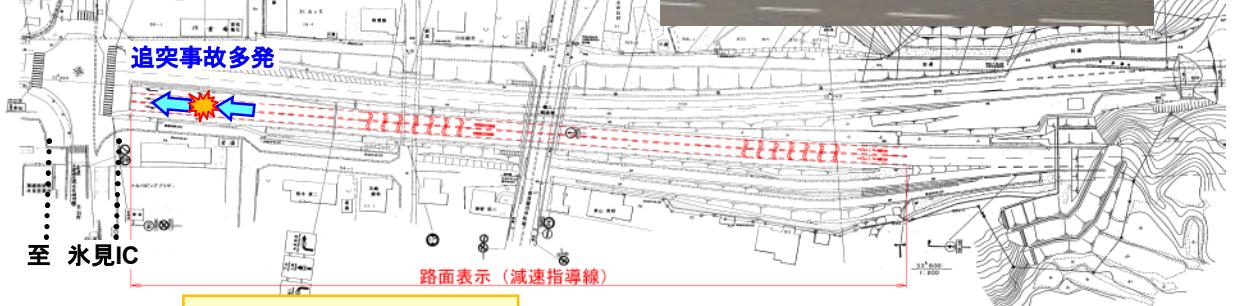
【H17-20 死傷事故率(件/億台キロ)】

◇ 事故対策事例(平成18年 路面標示 国道160号 幸町交差点)

減速を促す注意喚起路面標示



平成19年3月 能越氷見IC開通に伴い
国道415号が整備



開通後の事故形態の変化などを考慮した要因分析を実施する

平成19年3月に氷見IC開通に伴い
国道415号が整備された。
これにより交通状況が変化

下り坂であることから、追突事故が多発している。
減速を促す路面標示を実施している。

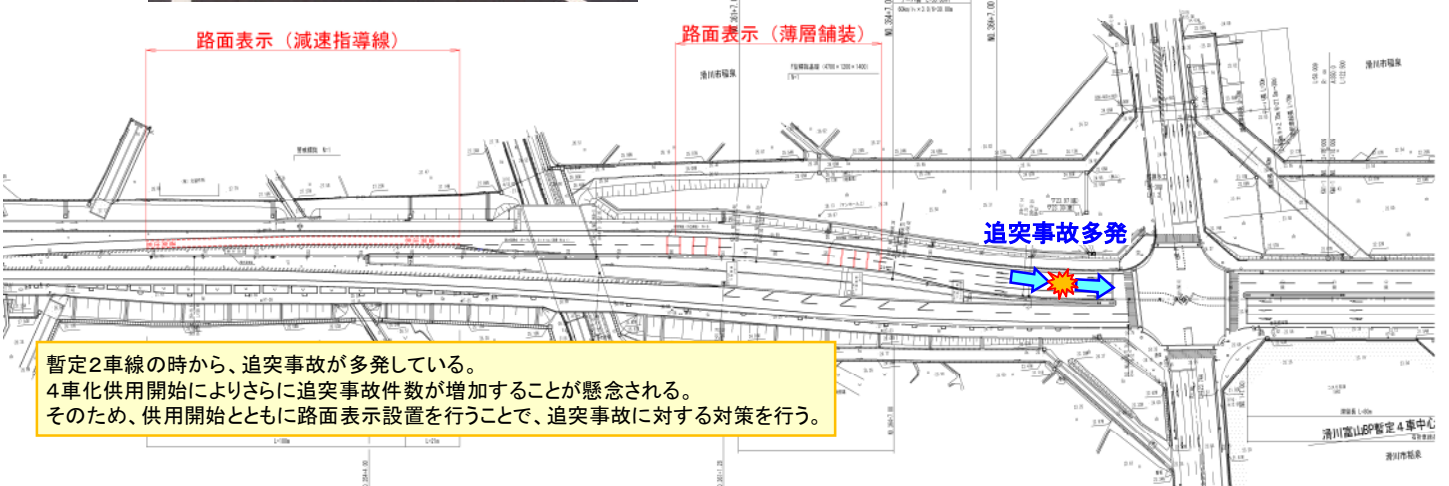
悪化している 改善している
対策検討 完了

◇ 事故対策事例(平成22年12月 4車線化 稲泉交差点)

減速を促す注意喚起路面標示

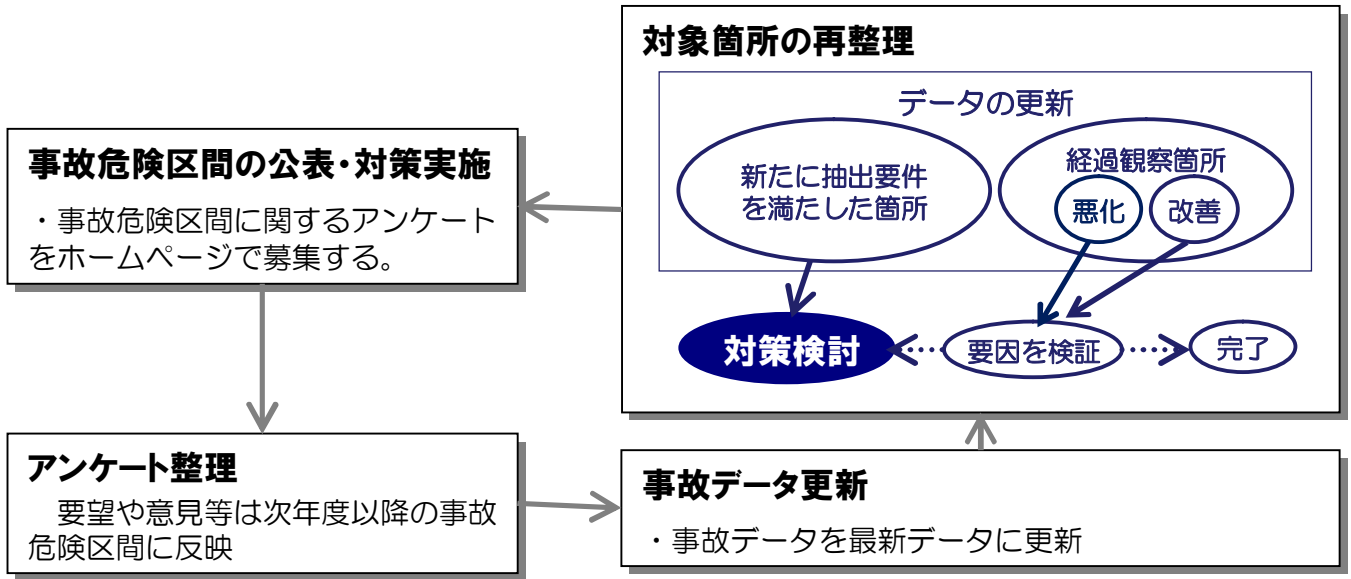


注意喚起する標識

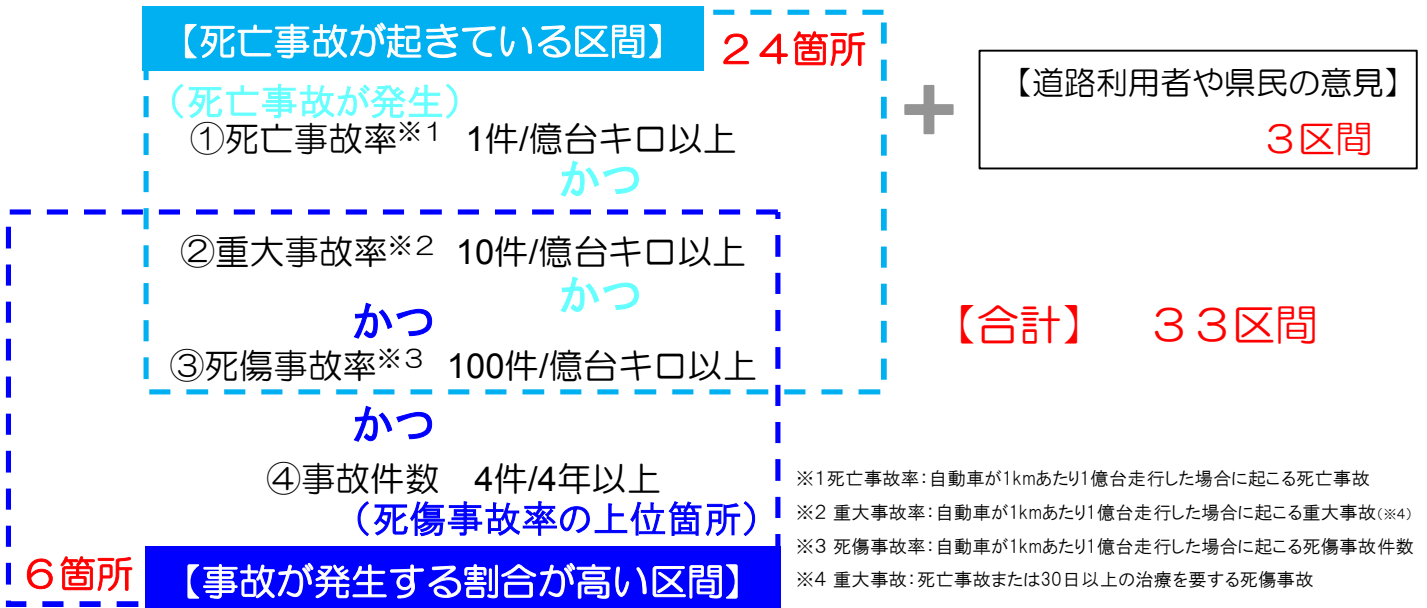


暫定2車線の時から、追突事故が多発している。
4車化供用開始によりさらに追突事故件数が増加することが懸念される。
そのため、供用開始とともに路面標示設置を行うことで、追突事故に対する対策を行う。

◇ 事故ゼロプランにおける取り組み



◇ 抽出条件



◇ 富山県道路安全・円滑化検討委員会の経緯

- **第1回検討委員会** (平成20年12月24日)
 ・安全走行及び円滑走行阻害箇所の選定方法の確認、パブリックコメント実施方針の確認
- **パブリックコメントの実施**
 ・実施期間:平成21年1月9日~2月28日 ・有効回答数:417
- **第2回検討委員会** (平成21年3月25日)
 ・パブリックコメントの集計結果報告、道路利用者や県民の意見を踏まえ箇所を抽出(案)
- **第3回検討委員会** (平成22年6月30日)
 ・対策箇所の設定、次年度以降の進め方の検討